

## 23区社協だより 「自治会活動」

令和6年度も23区は区民の皆様へ自治会活動を広くアピールすべく区民参加の行事やサロンを計画しております。今年度前半期に実施した「宮丸もぐら隊」「夕涼み会」を紹介します。

① 「宮丸もぐら隊」は畑を無償で借用できたので、まず自治会メンバーとボランティアの方々の協力の元、草刈り土起こし、〇〇作りと基盤を作ってからメンバーを募集

今の所、シルバーの方々が手を挙げて下さり、6月16日(日)に第一回12名参加で約一時間、サツマイモ250本を植えました。大体月二回(日曜)に2グループに分かれて草刈り、水やり作業を実施、あとは有志が継続作業で現在に至っています。

8月上旬に「いもづる」が伸びてきたので盆踊り時には20本束にし、自由に持って帰って頂きましたが好評で次回も配布予定です。また、メンバーの方が「文化祭のお客さんに手作りおやつを作ってもてなしてはどうか」との頼もしい意見も出てきました。収穫は育成部子供達も一緒に楽しみたいと思っております。

② 7月27日(土)第二回夕涼み会を実施しました。昨年より協力者、参加者も増え、とてにぎやかな3時間を「食べて、飲んで、遊んで、喋って、見て」大いに楽しんでいただきました。

## 24区社協だより 「みんな de Bousai」

校区内に藤ノ木市民センターがあり、災害の時は避難所開設となります。夜間の避難所開設の折にはセンター職員がいち早く開設してくださり校区まちづくり協議会は助けて頂いています。「防災・災害」取り組み計画中です。

## 西25区社協だより 「防災の取り組み」

こんにちは、西25区自治会の最新の報告です。令和5年度より、みんな de Bousai の取り組みを進めていますが会合に参加する方が少ないように見えます。各自治会の役員、民生委員、福祉協力委員さんの協力を頂きながら、いつ来るか分からない災害(地震、台風、線状降水帯、コロナ感染、熱中症、火災も含む)について勉強して「良かった」と思える事が災害を待っている訳ではありませんが転ばぬ先の杖という言葉が一日も早く「避難スイッチ」が入り命が助かったと思う日が来るかも知れません。その日のために皆さんと一緒に勉強してみんな de Bousai を一歩前に進めましょう。

## 東25区社協だより 「防災への取り組み」

生活安全パトロール&犯罪0の日パトロール  
東25区防犯委員会は毎月パトロールを実施。夜間は犯罪防止と防災を兼ね20時から子どもたちや、校区に在住のインドネシア出身の若者も参加。  
4地区に分かれて、声をかけながら地域の防犯・防災に貢献してくれています。  
防犯部の皆さん、地域の子供たち、ありがとうございます!

### 東25区公民館

防災について考えたとき、以前より指摘のあった東25区公民館の構造についての不具合の見直しを検討しました。問題点は、避難通路がふさがれていること。大広間の非常口の掃き出し口から道路に避難する通路に物置小屋が設置されて立ちふさがっています。近々、修理の予定です。皆さんも避難する経路を見直ししましょう!



## 23区まち協だより

藤ノ木校区が防災に取り組んで3年、今年度23区は独自の防災会議（メンバーは各組長）を立ち上げ、防災に対する意識（避難に対する共有の重要性）を高めていく計画を立てました。昨年1月は能登の震災後に地震に対する講演を実施。

今年度第一回は若松消防署予防課 瀧上欣一課長による「豪雨災害の対策について」の講話をお聞きしました。

近年の線状降水帯による大雨だが雨の降り方、降る場所によってもたらされる災害は異なるそうで「土砂災害」「浸水害」「洪水害」に分かれるが、宮丸地区はすべて入っているとの事。それらに対する避難の三原則として

- ① 想定を信じるな（予想以上の災害の起こる可能性あり）
- ② 最善を尽くせ（ここまで来れば大丈夫ではなくその時にできる最善の対応行動をとる）
- ③ 率先避難者たれ（行動を起こすことにより周囲の人にも同様の行動を促すことができる）

以上から地域に合った防災の共有を持つ事が重要  
マイラインチェックシートを記入してもらい事前の準備と行動を整理する。その家庭や地域で作成したものから話し合いを持ちながら防災行動を

追加していく。自治会では隣組で手助けのいる方を把握し災害時、どうやって避難行動をとるかを話し合う事も重要。災害避難カードの見本を参考に今後の活動に役立てていけたらと考慮しながら次回、スピーカー避難、救命救急法消火器訓練等を計画中です。

## 西25区まち協だより

自治会の取り組み状況は下記の通りです。

1. より多くの自治会委員への理解と参加協力を努力する組織づくり
  - ① 自治会役員、民生委員、福祉協力員さんを必ず参加してもらい体の不自由な方や外国の方等の対応要領を議論して作成する。
  - ② 上記から当自治会市民防災組織図を作成して新組長さんへ勉強会をする。その為に評議委員さんを作り（更なる理解を深める役割）を構築した。
2. 最終的には、現在、市報等を配布している（回覧板）ルートを考慮して、新たな組織（防災隣組3～6戸単位を）構築する。
3. このほか組によっては私の組はこの方法で進めまうと言われる方がいますが、敢えてその方法は駄目ですよとは言いません。最終的には危険を感じたら「避難スイッチ」を灯すことが狙いからです。

○自助・共助・公助という言葉がありますが、日向灘沖には南海トラフという海溝があります。毎日、毎日テレビやラジオにて聞きますがこれが起因するで地震があった場合、公助は充てには出来ないと思った方が良いと思います。だったらどうするの？共助ですよ  
今からでも遅くありません。  
お隣さんと仲良くしましょう！！

みんな de  
Bousai



## 24区まち協だより ○ラジオ体操中止

40年近く夏休みラジオ体操を頑張って参りましたが、思うように身体が動かず今年は見送らせていただきました。「ボランティアで私、出来るよ」との声もありうれしく思いました。ありがとうございます。役員と話し合い中止となりました。来年、頑張ります。ご参加待っています。



## 東25区まち協だより

藤ノ木校区社会福祉協議会および藤ノ木校区青少年育成協議会では6月12日(水)に東25区公民館で総会を実施しました。各自治会ははじめ、藤木小学校石峯中学校、藤ノ木市民センターも含め多くの参加をいただき有意義な話し合いがもたれました。

## 初盆供養

今年こそはと盆踊りの準備を進めていきましたが猛暑とコロナ感染拡大の懸念から縮小して、公民館での初盆供養となりました。

8月13日14日に15家族の方に初盆の供養をし故人を偲んでいただきました。ご近所、地域の方もお参りに来られ、手を合わせて冥福をお祈りくださいました。



## 編集後記

やっとコロナも落ち着いた様子でマスク未使用の方を沢山見かけるようになったと思ったら、6・7月にまた急に発症率が増加傾向、その影響で行事を取りやめた所も増えております。手洗い・うがい・消毒・休養を再認識し実行して再流行を阻止しましょう。

総務広報部 木村 薫